

### Ⅲ 松商学園高等学校

#### 1. 基本方針

下記の内容に重点を据え教育を推進する。

- ①普通科・商業科の教育内容について検証し、一層の充実をはかる。教育課程を改善する。
- ②大学進学等、生徒の進路実現へ向けて指導を徹底する。
- ③クラブ活動の一層の充実をはかり、より高い目標を実現しつつ学園を活性化する。
- ④国際交流等を通して、次代のリーダーとしての資質・能力を育成する。

#### 2. 学習指導・内容の充実と進路実現

<事業計画>

- ・現行の学科・コース、二年次からの類型選択など、きめ細やかな学習内容を提供する。
  - ・来年度へ向けて、土曜授業の廃止、コース制の見直しなど、教育課程の改善を検討する。
  - ・高大連携（松本大学・明治大学）をより深める。
  - ・特進コースは、海外語学研修を実施。
  - ・教師の指導力アップのための研修会の機会を積極的に設け、スキルアップを図る。
- 1) 普通科各コースの特徴を活かしたカリキュラムにそって目標を設定し、指導に当たった。
  - 2) 各コースプロジェクトの方針に従い、各担当が連携して、きめ細かな指導を行い、良い進路実績をあげた。

#### 3. 商業科

<事業計画>

- ・専門教育の充実、キャリア教育、社会人基礎力の育成などを行う。
  - ・進路保障の観点から、就職支援、高大連携による進学の推進等、環境整備を行う。
  - ・会計・経済の専門的知識と情報教育を充実させ、検定上級合格者増加の体制を確立する。
  - ・販売実習・調査活動等を通じ、実践力を養う。
- 1) 朝テストの実施により、基礎学力の向上に努めた。
  - 2) 各種の松本大学体験講座等積極的に実施し、成果があった。
  - 3) 各種検定への取り組みを強化し、上位級取得を含め高実績を残せた。

#### 4. 普通科・総合進学コース

<事業計画>

- ・クラブ活動実績で進路を実現させる生徒も多いため、効率的な学習指導により基礎学力を定着させる。
  - ・学校設定科目や総合的学習の時間を活用して、学習意欲・知性の向上を図る。
  - ・英語検定・漢字検定等の資格取得に挑戦し、進路実現の幅を広げる。
- 1) ほぼ100%の進路実現ができた。
  - 2) クラブ活動の実績を生かして進路実現させる生徒が多かった。
  - 3) 朝テストの導入により基礎学力の向上をさせたい。

#### 5. 普通科・文理進学コース

<事業計画>

- ・二年次からA類（私大文系）B類（国公立文系）C類（国公立理系、私大理系）の三つの類型を用意し、幅広い大学入試に対応できる学力を培う。

- ・学習とクラブ活動の両立を図りつつ、充実した進路指導・受験指導を行う。
- ・通年実施の補習授業やサテライト講座、長期休業中の補習授業を強化する。
- ・朝テスト・校外模試・進学ガイダンス等実施。

1)進路実現率の目標を達成できたが、国公立・難関私大への進学者数を増やしたい。

2)補習授業、全学年での朝テストの実施により基礎学力の向上が見られる。

## 6. 普通科・選抜進学コース

<事業計画>

- ・全学年で0時限授業を実施し、クラブ活動への参加の自由を保障しつつ、特進コースに準じたカリキュラムを実施する。

- ・国公立大学・難関私立大学への進路実現に向けて、補習授業など受験指導を強化する。
- ・校外模試・進学ガイダンス等を通じ、自己の学力の把握と大学受験に対応できる学力を養う。

1)進路状況は、国公立4名・難関私大10名を含め46名が合格した。

2)実用英語技能検定準2級6割・2級は1割が合格した。

## 7. 普通科・特別進学コース

<事業計画>

- ・国公立大学・難関私立大学への現役合格を目指す。
- ・生徒との対話を重視し、個に応じたきめ細やかなサポートを行うことにより、生徒自身のやる気、学ぶことの楽しさを引き出して進路実現を図る。

- ・1年次冬季に海外語学研修を継続実施する。

- ・特進コース担当者連絡会、特進プロジェクト会議を通し強化を目指す。

1)進路状況は、国公立10名・難関私大6名を含め36名が合格した。

2)実用英語技能検定準2級を2年次に全員・2級は5割が合格した。

## 8. 進路指導について

<事業計画>

- ・希望進路の実現を図るべく、研究・研修会等に積極的に参加し、より適切な指導を実施する。
- ・高校生としての基礎学力の定着をはかる（センター試験の平均点±10点）
- ・目標設定、動機付けを強固にするためにガイダンス・PTA活動をさらに充実させる。
- ・基礎学習の復習・進学補習・サテライト講座の利用を促し、学力向上を目指す。

1)これらの目標に向けて特別編成授業・補習・面接対策講座等を実施した。

2)80以上の行事を無事実施でき、成果が上がった。

3)目標としていた進路実現率の94%を達成できた。

## 9. 生徒指導について

<事業計画>

- ・すべての生徒がルールに基づく学校生活を送り、高校生らしい言動や清楚な姿を身につけることを生徒指導上の基本理念とし、一貫性のある継続した指導を日々実践する。

- ・日常生活における挨拶や身だしなみの指導

- ・登校時のマナー指導、自転車事故防止の徹底

- ・必要に応じた校内巡視

- ・携帯電話・スマートフォン等情報機器の使用モラルの指導

- ・生徒会活動、クラブ活動のより積極的な推進を図るための指導を強化する。

- 1) 特段大きな問題もなく、落ち着いた状況で過ごせた。
- 2) 年度当初を中心に、登下校時における自転車事故が多発し、指導を強化した。
- 3) 生徒会活動も生徒の自主的な活動のもと、充実した取り組みができた。
- 4) クラブ活動は運動部、学芸部共に多くの実績を残すことができた。

## 10. 国際交流活動の推進

### <事業計画>

- ・さまざまな機会を捉え、国際的なコミュニケーション能力を養い、主体的、積極的に国際社会に貢献する人材を育成する。

- ・引き続き韓国の釜慶高等学校との交流連携事業を推進する。

- 1) 釜慶高等学校との交流では、8月に予定していたサッカーの親善試合が中止となった。
- 2) 特進コースの海外語学研修がテロの影響を考慮し、アメリカからニュージーランドに変更となった。

## 11. 特別支援教育について

### <事業計画>

- ・中高連絡会での情報、入学後の生活観察等から、特別支援を必要とする生徒を早期に把握し、生徒・保護者への対応を迅速かつ丁寧に行う。

- ・学年主任・学級担任と養護教諭・スクールカウンセラー等の連携を密にして、生徒の状況を的確に把握し、生徒一人ひとりに応じて適切に対応する。必要に応じて医療機関との連携も図る。

- 1) 支援の必要な生徒にきめ細やかに対応し、サポートできた。

## 12. 生徒募集について

### <事業計画>

- ・平成 27 年度入試と同様に推薦入試と一般入試で二本立ての選抜を行い、募集定員を厳守し合わせて入学者のレベルアップを図る。入学者が減少した特進コースの充足を図るため、入学者選抜の検討を行う。

- 1) 松商人気の為、推薦入試で 396 名の合格を出した。
- 2) 一般入試では 44 名定員で 800 名以上の受験者がいたが、1 名増だけで定員を守れた。
- 3) 特進コースの人数を確保する対策をとることができた。

## 13. 保健衛生・健康管理の推進

### <事業計画>

- ・生徒の心身の健康維持とそのため教育と予防に努める。

- ・健康教育、感染症予防の徹底、性教育、DV 防止、薬物乱用防止など生徒への教育の徹底を図る。

- 1) 各種行事を予定通りに実施できた。

## 14. PTA 活動の推進

### <事業計画>

- ・教育活動(学習活動、クラブ活動)に対して、効果的な財政的支援を研究し、推進する。

- ・私学助成活動を積極的に推進し、陳情活動の実施と、署名活動の協力を行う。

- ・PTA 地区会を多くの地区で開催し、保護者との意見交換を密にする。

- 1) 教育活動を効率的にするため、財政支援をすることができました。
- 2) 教育セミナーの実施、私学助成等計画通りに実施できた。

3) クラブ活動が盛んになり全国大会への参加生徒の財政支援ができた。

## 15. 高大連携の推進

<事業計画>

- ・松本大学との教員相互派遣や施設の利用等を通じて、双方の教育力アップを図る。
- ・引き続き明治大学との連携を行う。

- 1) 松本大学と講師派遣・入試相談等の教員間の密な話し合いにより 75 名が進学している。
- 2) 明治大学は進路ガイダンスに来校いただき、特進生徒は、国際日本学部で模擬講義を受講した。

## 16. キャリアサポートセンターの充実

<事業計画>

- ・本校卒業生を対象に、地元就職に関する情報の提供や相談会の開催
- ・企業・校友会・高等教育機関等と連携した就職支援を積極的に推進する。

- 1) 大学の就職時期が早くなり、それに合わせるように 2 月に説明会を実施した。